



地域協学センターシンポジウム「地域活性化の中核拠点を目指して」を開催し、初の「ぎふ次世代地域リーダー」の称号を授与しました。

## ■ TOPICS

- 01 地域協学センターシンポジウム「地域活性化の中核拠点を目指して」を開催し、初の「ぎふ次世代地域リーダー」の称号を授与しました。
- 02 平成28年度後期インターンシップ合同成果発表会を開催しました。

### 01.地域協学センターシンポジウム「地域活性化の中核拠点を目指して」を開催し、初の「ぎふ次世代地域リーダー」の称号を授与しました。

平成29年3月21日（火）、岐阜大学講堂において、岐阜大学が『地域活性化の中核拠点』として推進している「地（知）の拠点整備事業（※1大学COC事業）」及び「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（※2COC+事業）」における教育・研究・社会貢献の活動および成果を広く学内外に向けて発信する機会として、「地域協学センターシンポジウム」を開催しました。（学内外から約140名が参加）

初めに森脇学長より開会の挨拶があり、次に次世代地域リーダー育成プログラム（※3）修了証授与式が行われ、同プログラムの修了者である13名の学生に対して修了証及び「学生コーディネーター」の称号授与に加え、「ぎふ次世代地域リーダー」の称号が5名に授与されました。文部科学省生涯学習政策局・政策課長 里見朋香氏の講演後、研究代表者による地域志向学プロジェクト、地域コーディネーター、次世代地域リーダー育成プログラムを修了した学生、COC+参加大学の学生による活動報告が行われました。



※1 大学COC事業... 「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としている事業です。

※2 COC+事業... 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」は、岐阜をフィールドに自治体や企業等と協働し、産業界との関わりを強化して、インターンシップを核とした3ステップ（①聞く・見る②挑戦する③活躍する）の教育プログラムを実施し、参加大学（\*）共通プログラムにより産業界ニーズに適合した人材を育成し、地元就職とUターン就職を推進し、地方創生に貢献することを目的としている事業です。

\* 参加大学：中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学

※3 次世代地域リーダー育成プログラム... 岐阜大学生が地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて行動できる人材になるための教育プログラムです。地域の課題解決のための「地域リーダーコース」と地域産業で活躍するための「産業リーダーコース」があります。

# Column

## 「地域協学センターって何をしている所？」

### ①教育：次世代地域リーダー育成プログラムを展開



▲「自己省察と将来のキャリア設計」では社会人と交流。他にもたくさんの授業が開かれているよ。

### ②研究：地域志向学研究プロジェクトを支援



▲研究成果を報告中。岐大の先生も地域に出て活躍していることが良く分かるよ。

### ③社会貢献：ぎふフューチャーセンターを開催



▲インターンシップについて対話中。色々なテーマで開催しているのでぜひ参加してみてね。

## 02.平成28年度後期インターンシップ合同成果発表会を開催しました。

平成29年3月8日（水）、「平成28年度後期インターンシップ合同成果発表会」を開催しました。

この発表会は、「次世代地域リーダー育成プログラム」で開講するインターンシップ科目あるいは「産業界のより実践的な課題解決」に取り組む科目（産業リーダー実践（上級））のいずれかを受講した学生が、自身の活動内容を地域・産業界に向けて発表する場です。今回は、受入先企業や自治体等の関係者22名、学生・教職員等38名の計60名が参加しました。

他の学生達の発表も聞くことで、新たな気づきを得たり、自身のキャリアアップを図ったりすることにもつながりました。

発表した学生からは「今回のプレゼンテーションの機会を通じて、人に自分の意見を届ける大切さを学ぶことができた」「自分が行った企業以外の学生の発表を聞き、まだまだ知識が不足していることがわかった」などの感想や、発表を聞いた学生からも「今後も積極的にインターンシップに参加したいと思った」などの意見がありました。

平成29年度のインターンシップに関するガイダンスは4月に実施します。地域協学センターが開講するインターンシップは、4月中は履修申請可能ですので、ご興味のある方は、「Event Information」の項をご参照ください。



### 次世代地域リーダー育成プログラムを修了した学生の声



地域科学部4年  
早川 観里さん

このプログラムを受講したことで自信を持つことができ、社会に出て活躍したいという気持ちが高まりました。産業リーダー実践までのプログラムで得られたものは、知識だけではなく、周りを議論に巻き込んで全員参加の話し合いをすること、相手に伝わりやすく工夫して発表することです。

今後は、この経験を活かして地域社会で活躍することで地域・産業界に還元していきたいと思っています。今後もっと多くの学生が、このプログラムを受講してもらえればいいなと思います。

## Event Information

URL:<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/>

### 4月19日、26日 インターンシップ合同ガイダンス 12時15分～15時

（場所：全学共通教育棟2階21教室、申込不要、説明約30分。①12時15分～②13時～③14時～）

全学共通教育科目として前期に開講するインターンシップ3科目の合同ガイダンスを実施します。  
※インターンシップ科目は4月中追加履修が可能です（詳細はガイダンスでお問い合わせください）

日程が合わない場合は、随時説明をしますので、地域協学センターまでお越しください。

インターンシップとは、民間企業や自治体、各種団体等の組織において就業体験を行う制度で、「働く意味」を考え「社会で必要とされる基礎的な力や心構え」を学ぶことができます。

科目1	科目2	科目3
産業協働型インターンシップⅠ・Ⅱ	地域協働型インターンシップ	自治体協働型インターンシップ
単位数:1単位 期間:1週間程度 特色:2度のインターンシップを行い、専門分野以外にも挑戦し、視野を広げる。	単位数:2単位 期間:2週間以上 特色:通常より、インターンシップ期間が長く、実務に携わる。	単位数:1単位 期間:1週間程度 特色:岐阜県における公務員の職務や統計調査の意義や仕組みを理解する。

#### □合同ガイダンスの内容

- ① 3種類のインターンシップ科目やインターンシップ制度の説明
- ② 過去の事例の紹介等
- ③ スケジュールの案内